

機械器具 01 手術台及び治療台  
一般医療機器 手術台アクセサリー JMDNコード：70469000

## 手術台用附属品Cセット

### 【警告】

1. 手術台に患者を乗せ附属品をセットするときは、常に患者の状態を監視し、付属品の不具合を監視して適切に使い安全に注意を払うこと。
2. 本装置は手術台に確実に取り付、必ず適切な洗浄又は、滅菌を行って下さい。[細菌などに感染しにくい様に清潔にしてください。]
3. 本品は取扱説明書に従い正しくお使い下さい。
4. 本品を使用するときは医師の指示に従いよく熟知してから使用して下さい。
5. 使用する前には必ず機能点検を行い異常のないことを確認してお使い下さい。
6. 異常や破損状態がある時の使用は患者に健康被害を与える可能性があります、確実に整備された器械、装置をお使い下さい。

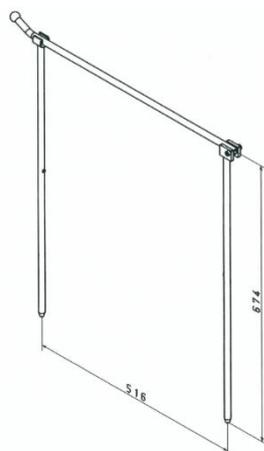
### 【禁忌・禁止】

1. 各附属の負荷値は 20 k g を超えない様に使用すること。[自社規定の実質耐久力から、使用状況によって必ずしも該当しません]
2. 手術台への附属品のため、他の目的の処置に使用しないこと。[想定を超えた使い方は危険です。]
3. バイポーラや電気メスとの接触は感電や火傷の健康被害を発生させる可能性があります、直接の接触は絶対に避けて下さい。
4. 電気メスのモノポーラ用コードに本品を接触させての使用はしないで下さい。
5. 汚染されている状態では絶対に使用しないで下さい。[清潔の術者が振れることが起こると感染に繋がります]
6. 本品は他社製品と共に使用しないで下さい。[規格基準が合わないものと使用すると本来の性能を発揮できず思わぬ不具合を発生させる可能性があります。]

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 外観図

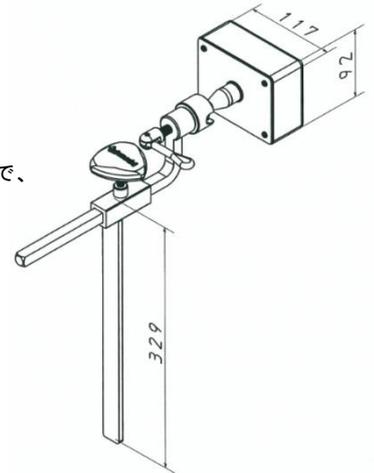
#### A. コの字形カーテン架



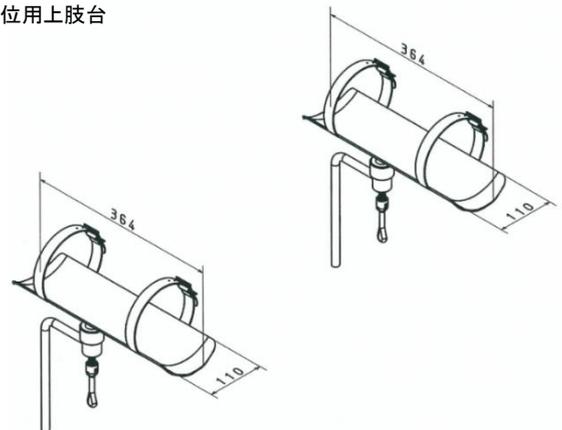
縦棒を両サイドに、片側縦棒の上に関節を設置し横棒を縦回転できるように取り付け水平に反対側縦棒の上にU型の受けメタルを溶接設置する、回転横棒をこのU型溝に置くとコの字形の形状として両サイド支持のカーテン架と成る構造原理である。

#### B. 恥骨押え

6×25のフラットバー材の上側に角穴を持つ角材を溶接した主柱に横方向に貫通する角材を設置し、ノブねじで位置を固定できる構造で、スライドする角材の先端を90°上に立ち上げ先端に玉関節を設置溶接した調整装置に、角パッドの設置された玉関節の球側の球をレバーハンドルで固定できる恥骨押えの構造原理である。

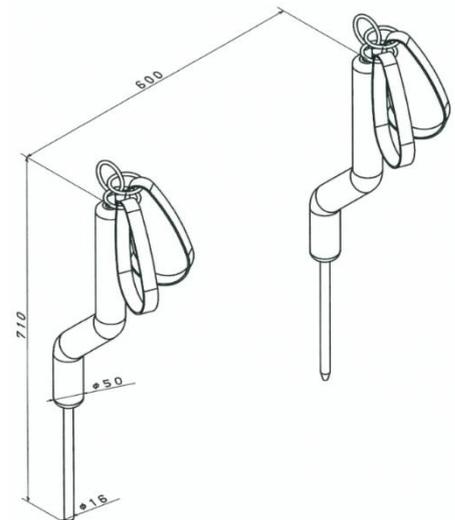


#### C. 腹臥位用上肢台



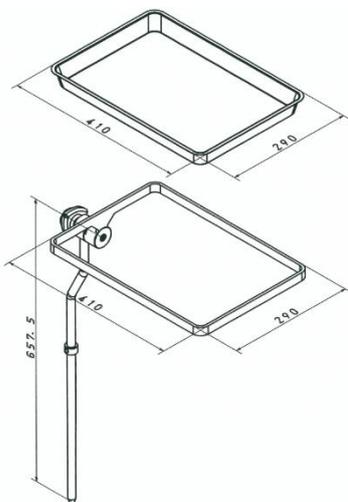
16φのL型に曲げられた丸棒の水平先端に縦方向の玉関節を設置溶接した主柱に、二本の固定バンドを持つU型上肢固定受け皿の下側に設置溶接された、玉関節の球側の球をレバーハンドルで固定できる腹臥位用上肢台の構造原理である。

#### D. 棒型支脚器



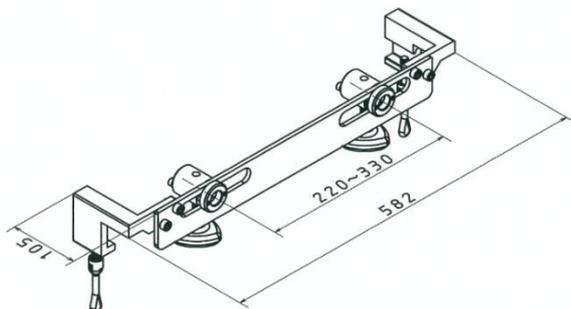
16φの2点屈曲型に曲げられた丸棒の垂直支柱上部からシャフトに巻きつけたパッドを貼付け、上部先端にリングを溶接設置し、自由に位置できるリングに二本のベルトを設置した構造原理の棒型支脚器である。

E. 片足機械盤台



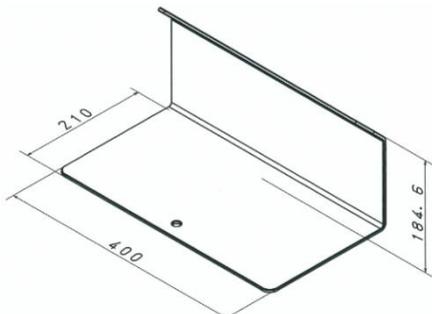
16φの2点屈曲型に曲げられた丸棒の上部先端に縦回転状に菊座を溶接し、トレー側フレームに菊座を溶接した枠をノブねじで固定される片足機械盤台の構造原理である

F. ベースユニットアタッチメント



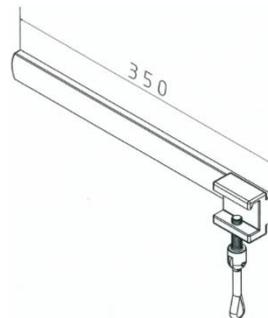
長穴を二か所持つフラットバーに、丸穴を持つシャフト取付け固定メタルを長穴に調整可能な固定ポストとして設置する、長穴フラットバーの両サイドに手術台のサイドレール固定用のクランプをキャップボルトで締付けた構造原理のベースユニットアタッチメントである。

G. アームシールド



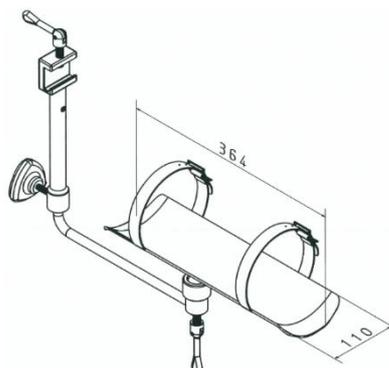
樹脂性のペット材を90°に曲げ、立ち上がり部上端を45°内側に更に曲げ加工した構造原理のアームシールドである。

H. 延長レール



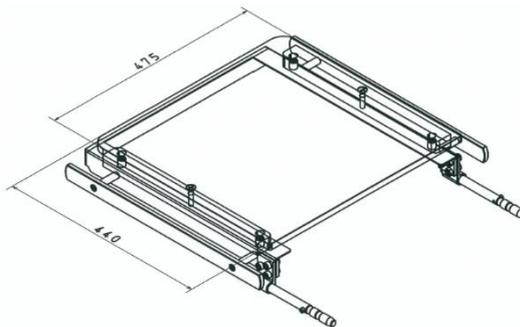
レバーハンドルで固定される手術台のサイドレールクランプに手術台のサイドレールと同じフラットバーを溶接した構造原理の延長レールである。

I. 肘受け



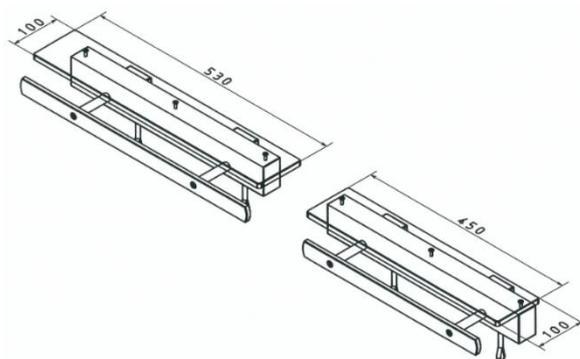
13φのL型に曲げられた丸棒の水平先端に縦方向の玉関節を設置溶接したフレームに、二本の固定バンドを持つU型上腕固定受け皿の下側に設置溶接された、玉関節の球側の球をレバーハンドルで固定できるように設置し、L型フレームの立ち上がり部に縦側アジャスト可能なパイプ状の支柱を設置しその上部に手術台のサイドレールにレバーハンドルで固定できるクランプを設置溶接した構造原理の肘受けである。

J. 延長頭板



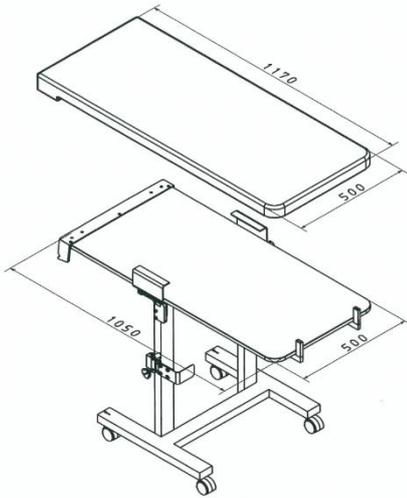
二本の取付けシャフトを持つアングルフレームに左右に連結溶接したフラットバーでコ型フレームに仕上げた上部にアクリル材の板をカセットが入る空間を下駄状に取付け、両サイドには手術台と同じサイドレールをキャップボルトで設置固定した構造原理の延長頭板である。

K. 横幅延長板



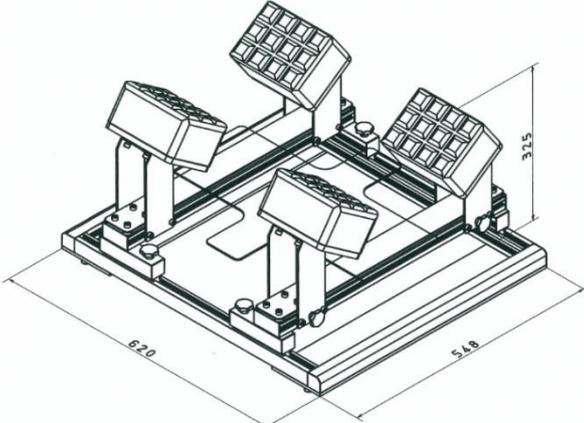
二種類の同じ構造の長さで背板と腰板の横幅延長用の手術台用アクセサリで、角パイプの上部にアクリル材の板を皿ビスで固定し、手術台と同じサイドレールをキャップボルトで設置固定した反対側に手術台のサイドレールにレバーハンドルで固定する2個のクランプを溶接設置した構造原理の横幅延長板である。

#### L. 透視用延長板



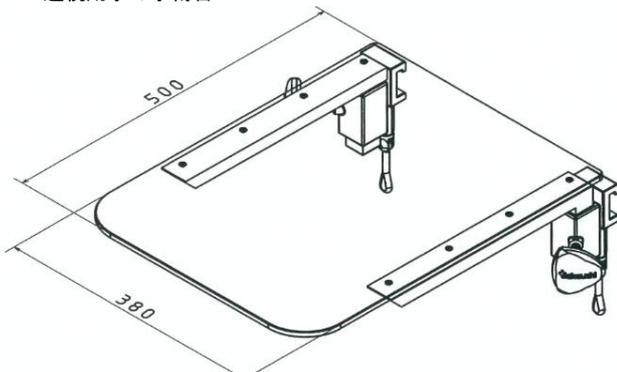
透視可能なCFRP板の片側先端に、手術台の腰板サイドレールに固定できるクランプフレームを持つ透視延長板で、これを格納取付け補助機能のカートとトップに設置するマットからなる構造原理の透視用延長板である。

#### M. 腹臥位用四点フレーム



アルミ形状加工フレーム材を使用し四角状のフレームに組みベークライト板の上部にボルト固定し、縦にスライド可能な二組のフレームを設置し、このフレームに横スライド可能な二対の角パッドを設置した肩部、腰部を受ける四点支持の台状の構造原理の腹臥位用四点フレームである。

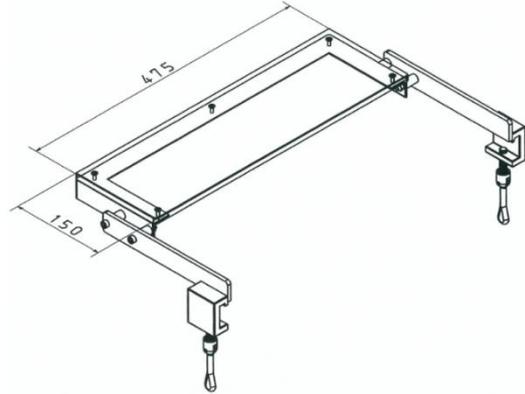
#### N. 透視用手の手術台



手術台のサイドレール固定用のクランプに縦方向に差し込む角穴を持つ角クランプを溶接し手術台のサイドレールに二か所固定し、

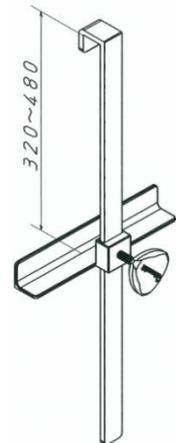
この角穴に挿入できる角パイプから成るL型のフレームを二個作りこの上にアクリル製又はCFRP材の板を皿ビスで固定した、透視手術の可能な構造原理の手の手術台である。

#### O. サイドレール取付け延長板



二個のサイドレール固定用クランプをアングルフレームで溶接したコ型フレームにキャップボルト固定し、上部にアクリル材の板を皿ビス固定した延長板で上部のマットをL型に仕上げ、延長板の先端縦側まで覆った構造原理のサイドレール取付け延長板である。

#### P. 側臥位用カセットホルダー



6×25のフラットバー上端に鍵型のフック状に溶接した縦フレームに、スライド可能な長四角穴を持つアングル材を溶接し上下スライド可能な水平フレームをノブねじで固定しレントゲン用カセットホルダーを固定する構造原理の側臥位用カセットホルダーです。

#### 2. 質量

各固有の重量 1.0Kg から 15Kg (約)

#### 3. 電氣的定格

なし

#### 4. 機器の分類

クラスI 機器

#### 5. 使用環境

室温：15° ~35° C (常温)

#### 6. 機能 (外寸)

寸法：各外観図中に記載 (受注要求事項により変更あり)

#### 7. 作動原理

アクセサリは手術台に装着して固定したり、手術台周辺に配置して備え付けの車輪固定用のブレーキを掛けて固定する単純な原理です。  
固定は、サイドレールや手術台に設置した装着部に取り付けて固定する。

## 【使用目的、効能又は効果】

### A. コの字形カーテン架

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、一般的な外科手術に使用する附属品で、清潔野と麻酔医のワーキングゾーンの分離を目的とする手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

清潔を保つ術野と不潔野を負い布で明確に分離する、門型のフレームで両サイドの主柱が確り支えるため、開創などの柱としても使用できる。

### B. 恥骨押え

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、一般的な外科手術に使用する附属品で、患者の体位固定を目的とする手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

特に側臥位など患者の体位が不安定なときに支え安定した状態に固定できる。

### C. 腹臥位用上肢台

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、一般的な外科手術に使用する附属品で、腹臥位の患者の前腕を固定する目的で使用する手術台用アクセサリ。

#### 効果

腹臥位の体位を取ったとき前腕の楽な姿勢に合わせて上肢が固定できる。

### D. 棒型支脚器

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、一般的な外科手術に使用する附属品で、碎石体位を取る手段として足首にベルトを引っ掛けぶら下げる状態で体位を取る目的で使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

下肢の大腿部や下腿部、膝関節の内側に圧迫を与えず碎石体位を取ることができ神経や血流の圧迫による障害を軽くできる。

### E. 片足機械盤台

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、一般的な外科手術に使用する附属品で、消毒された清潔機材の手術用器具器械を滅菌したトレーに乗せる目的で使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

トレー面が前後に傾けることが片側で簡単にできるため、手術台が縦転してもトレー面を水平に保つように固定できる。

### F. ベースユニットアタッチメント

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、一般的な外科手術に使用する附属品で、多種の頭蓋固定器などを装着する目的で使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

特定された銘柄でなく各社の頭蓋固定器を装着できる、アジャスト式のピッチ変更が簡単にできるアタッチメント。

### G. アームシールド

#### 1. 使用目的

手術台の臥床板面とマットレスの間に装着し、一般的な外科手術に使用する附属品で、仰臥位の体位のととき上腕を臥床面から逸脱しないよう支える目的で使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

仰臥位の体位を取ったとき簡単に上腕を支える必要があるとき、素早く使用できる。

### H. 延長レール

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、使用する附属品で、手術台本

体のサイドレールが短くその先端に手術台用アクセサリを装着したいとき、延長用のレールとしての目的で使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

手術台用アクセサリの幅広い装着を可能とする。

### I. 肘受け

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、脳神経外科で側臥位の体位を取るとき下側に位置する前腕の固定を目的として使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

下側の前腕を支えることで側臥位の体位が安定し患者の体圧も脇腹が軽減され楽な姿勢を取ることができる。

### J. 延長頭板

#### 1. 使用目的

手術台の標準頭板の代わりに背板フレームの頭板装着ホールに差し込み、身長の高い患者や背板、腰板の関節部に体位を合わせ屈曲した体位を取る目的として使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

様々な患者の体系に合わせて楽な体位で手術を行うことができる。

### K. 横幅延長板

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、使用する附属品で、体格の大きな患者が手術台の幅からはみ出る様などを目的として使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

様々な患者の体系に合わせて楽な体位で手術を行うことができる。

### L. 透視用延長板

#### 1. 使用目的

手術台の腰板サイドレールに装着し、使用する附属品で、患者の透視を必要とする手術に使用する目的の手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

装着部分のみ金属が使用され延長された臥床面はCFRP材による透視可能なエリアを利用して透視外科手術を行うことができる。

### M. 腹臥位用四点フレーム

#### 1. 使用目的

手術台の臥床面に設置され、使用する附属品で、患者の体位を腹臥位に取り脊椎の手術を主に行うとき、使用する目的の手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

腹臥位で脊椎の手術を行うとき、下側が丁度腹部に当たるため呼吸維持や、血流圧迫などの弊害を軽くするため、肩と腰骨の一部を四点で支え患者への負担を減らすことができる。

### N. 透視用手の手術台

#### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、上肢の外科手術に使用する附属品で、透視可能な上肢台面を利用して手の透視外科手術を目的として使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

患者の手を自然な体位で設定できる位置に装着でき、透視可能な上肢台面が透視外科を可能にする。

### O. サイドレール取付け延長板

#### 1. 使用目的

手術台の頭板のサイドレールに装着し、身長の高い患者や背板、腰板の関節部に体位を合わせ屈曲した体位を取る目的として使用する手術台用アクセサリ。

#### 2. 効能又は効果

様々な患者の体系に合わせて楽な体位で手術を行うことができる。

#### P. 側臥位用カセットフォルダー

##### 1. 使用目的

手術台のサイドレールに装着し、レントゲン撮影を横側から行う目的で使用する手術台用アクセサリ。

##### 2. 効能又は効果

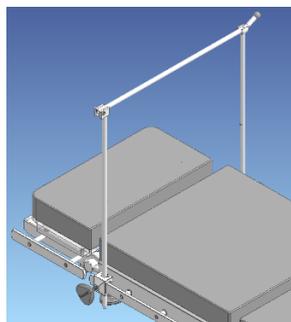
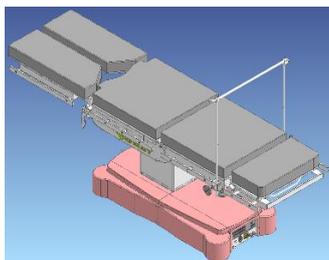
レントゲンフィルムサイズに合わせて調整ができ、側臥位の体位で患者の撮影部位に装着できラテラル方向のレントゲン撮影ができる。

各附属品は個別に販売されることがある。

### 【使用方法等】

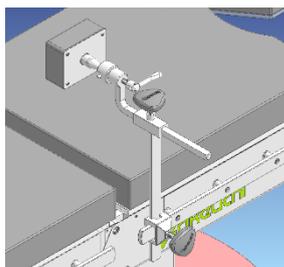
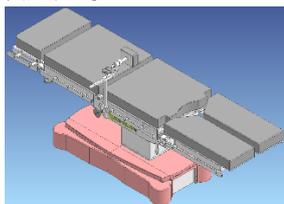
#### A: コの字型カーテン架

手術台のサイドレールに角型固定金具を使用し回転水平フレーム側の縦シャフトを固定し反対側のサイドレールにU型の受け側シャフトを左右縦方向位置、高さを同じ位置に固定する、水平シャフトを回転しU型受けに嵌める。



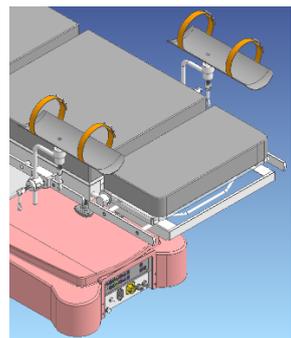
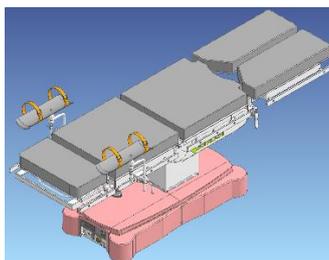
#### B: 恥骨押え

手術台のサイドレールに角型固定金具を使用し恥骨押えの縦フレームのフラットバーを金具に差し込み、高さを任意に決め固定する。恥骨押えパッドの一をノブねじで調整し、パッド面を患者の当てる部分に平均に充てるため玉関節で角度を調節しレバーハンドルで固定する。



#### C: 腹臥位用上肢台

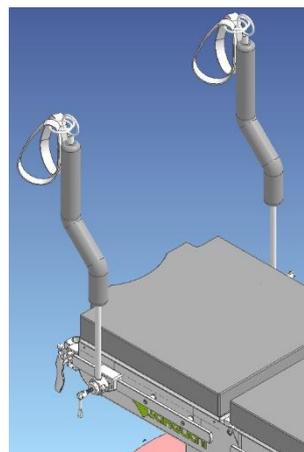
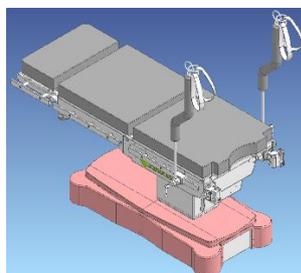
手術台のサイドレールに丸型固定金具を使用し腹臥位上肢台の縦シャフトを金具に差し込み、高さを任意に決め固定する。上腕をU型受けの合わせベルトで固定する。上腕の傾きに合わせ玉関節で角度を調節しレバーハンドルで固定する。



#### D: 棒型支脚器

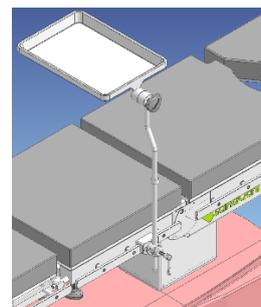
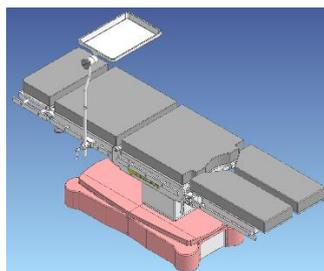
手術台のサイドレールに丸型固定金具を使用し棒型支脚器の縦シ

ャフトを金具に差し込み、高さを任意に決め固定する。足受けベルトに患者の足を固定ぶら下げ丸型固定金具のレバーハンドルで同時に高さとも開き具合、手前への傾きを菊座関節の位置で調整しレバーハンドルで固定する。



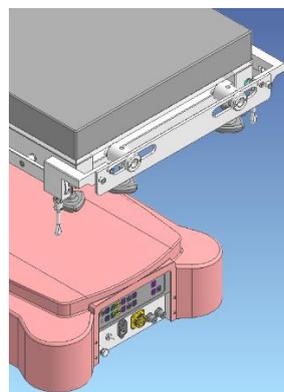
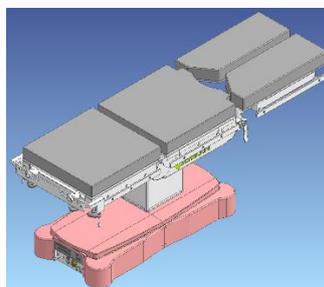
#### E: 片足機械盤台

手術台のサイドレールに丸型固定金具を使用し片足機械盤台の縦シャフトを金具に差し込み、高さを任意に決め固定する。手術器械を乗せるトレーは消毒し手術台の臥床板面に合わせて上部の菊座で調節しノブねじで固定する。



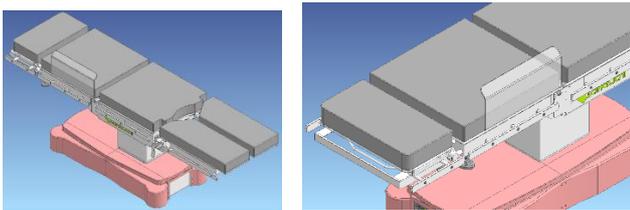
#### F: ベースユニットアタッチメント

手術台の標準頭板を外し背板のサイドレール先端にベースユニットアタッチメントの固定金具を差し込み直接レバーハンドルで固定する。使用するベースユニットの差込ピンのピッチに合わせて差し込み固定ボスを長穴の調節範囲で固定する、ベースユニットの差込シャフトを丸穴ボスに差し込みノブねじで固定する。



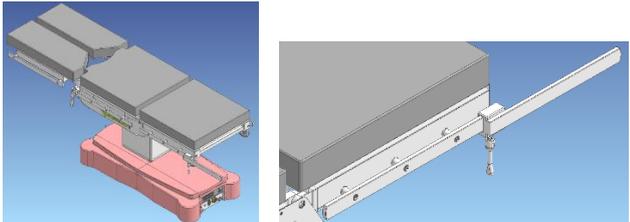
**G : アームシールド**

手術台のマットレスと臥床板面の間にアームシールドの水平面を差し込む。



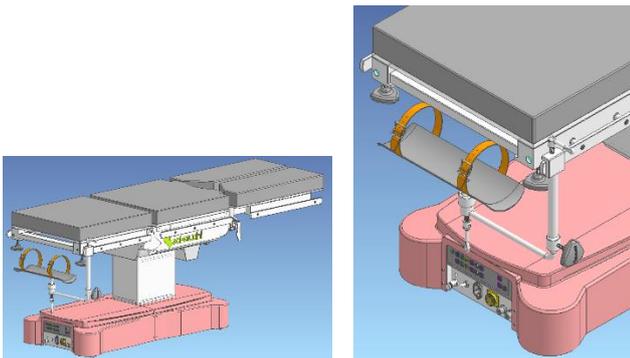
**H : 延長レール**

手術台のサイドレールの長さが標準では足りない時、延長するためのサイドレールで、延長レールの固定金具部を手術台のサイドレール先端に差し込みレバーハンドルで固定する。



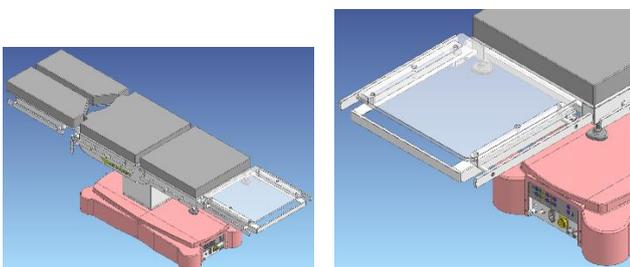
**I : 肘受け**

手術台のサイドレールに肘受けの固定金具部を差し込みレバーハンドルで任意の位置に固定する、患者の下側に出た前腕の位置に合わせて縦方向に伸び縮みする縦側シャフトを固定しているノブねじで調整し、更に腕の傾きに合わせ玉関節で角度を調節し、レバーハンドルで固定する。



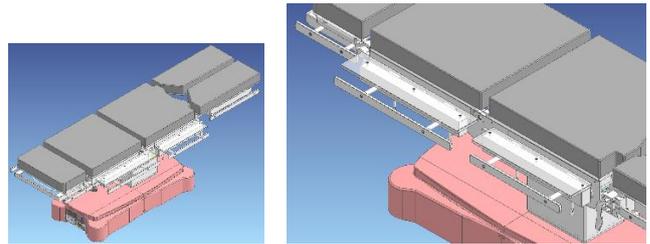
**J : 延長頭板**

手術台の標準頭板を外しこの取付け穴に延長頭板の差込シャフトを差し込みノブねじで固定する。



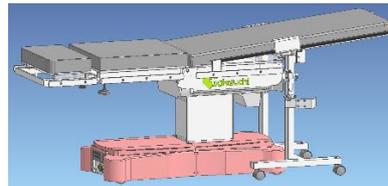
**K : 横幅延長板**

手術台の幅を延長したいとき使用するアクセサリで手術台のサイドレールに横幅延長板の固定金具を嵌め込みレバーハンドルで固定する。

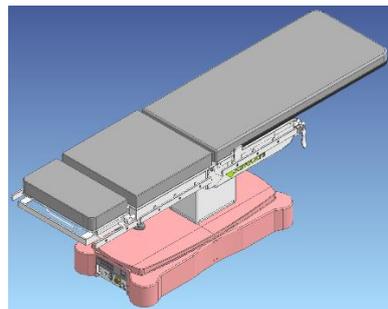


**L : 透視用延長板**

①手術台の足板を外し透視用延長板のサイドレール固定フックを腰板のサイドレールカラーに引っ掛ける。

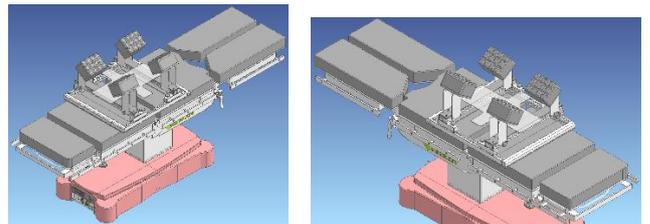


②その位置のまま手術台を上昇させると透視用延長板のサイドレール固定フックで回転するように水平に成り手術台に固定される。



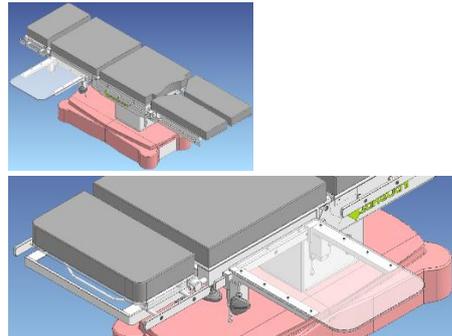
**M : 腹臥位用四点フレーム**

手術台の臥床板正面に乗せると通常の500幅である手術台に足ゴムが外幅にはみ出す様に嵌り込み固定される。四点パッドは縦スライドと横スライドが出来それぞれノブねじで固定移動ができ患者の肩部と腰部に移置させ固定する。

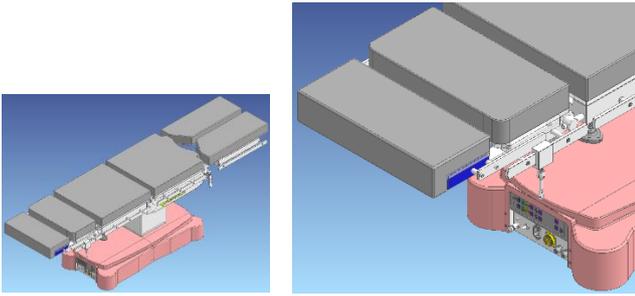


**N : 透視用の手術台**

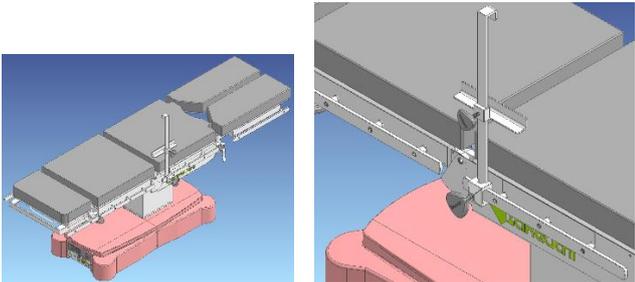
手術台のサイドレールに透視用の手術台の固定金具を取付けレバーハンドルで固定する、この固定金具に角足の挿入部を嵌め込み高さを調整しノブねじで固定する。



O：サイドレール取付け延長板  
手術台の頭板のサイドレール先端にサイドレール取付け延長板の固定金具を差し込みレバーハンドルで固定する。



P：側臥位用カセットフォルダー  
手術台のサイドレールに角型固定金具を使って固定する、カセットフィルムの大きさに合わせてノブねじで高さ調整しノブねじで固定する。



#### 【使用上の注意】

##### 1. 重大な不具合や事故を防止する注意事項

使用に入る前に「取扱い説明書」、「使用上の注意」を熟読し製品の取り扱い方、性能、機能、特性を十分理解してからご使用ください。

2. 「適用対象（患者）」 手術台のサイドレールに確実に固定し、患者の手や足が、駆動部に挟まることの無いようご使用下さい。
3. 「併用医療機器」 サイドレールの規格に合わない物への装着はしないで下さい。
4. 「使用方法」 「取扱い説明書」を参照し適性にご使用下さい。

#### 【保管方法及び使用期間等】

##### 1. 保管方法

JIS T 0601-1 医療電気機器の環境条件による  
輸送及び保管以下の条件に耐える環境  
周囲温度範囲：10℃～40℃  
相対湿度範囲：30%～75%  
気圧範囲：700hPa～1060hPa

##### 2. 耐用期間

製造出荷後10年：定期的な保守点検を実行する条件  
(正常に使用し、定期点検を年間1度は行った環境での自社で定める年数。)

#### 【取扱い上の注意】

使用に入る前に「取扱い説明書」、「使用上の注意」を熟読し製品の取り扱い方、性能、機能、特性を十分理解してからご使用ください。

#### 【保守・点検に係る事項】

##### 1. 使用者による保守点検事項

1. 始業点検のとして使用前に以下に支障がないか必ず確認。  
①ノブネジの破損 ②固定用金具の損傷 ③汚れ
2. 本体の破損・緩み  
①回転部分の状態 ②マットの破れ

##### 2. 業者による保守点検事項

使用状態によりますが手術台の経年劣化に考慮し機器の点検依頼を計画してください。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

##### 1. 製造販売業者

製造販売業者：株式会社竹内製作所  
住 所：〒332-0003  
埼玉県川口市東領家4丁目2番12号  
TEL 048-222-2663 FAX 048-222-2613  
e-mail:info@takeuchi-medical.co.jp  
http://www.takeuchi-medical.co.jp

##### 2. 製造業者：株式会社竹内製作所

##### 3. 販売業者（代理店）連絡先